

令和7年 医工連携フォーラム・ビジネスマッチング会公開ニーズ集

ver R7.7.10

No.	所属機関	診療科名	職種	ニーズ名称	ニーズ内容
1	飯塚病院	臨床工学部	臨床工学技士	新生児用鼻保護材	新生児用人工呼吸器用鼻マスクや鼻ブロングを使用する際に褥瘡を防止するための保護材を自作している非常に手間がかかるため製品開発したい。
2	飯塚病院	臨床工学部	臨床工学技士	透析装置用消毒薬の誤混入防止	透析装置の消毒に次亜塩素酸ナトリウムや酢酸・過酢酸を用いており、補充を間違えると塩素ガスが発生する。消毒剤の補充時の誤混入を防止したい。
3	飯塚病院	臨床工学部	臨床工学技士	血液透析エコー下穿刺のサポートデバイス	エコーガイド下シャント穿刺時、穿刺針とエコープローブをそれぞれ利手と反対の手に保持するため、血管の固定が困難となる。的確な穿刺を支援する補助デバイスを求める。
4	飯塚病院	臨床工学部	臨床工学技士	カプセル内視鏡センサと服の一体型	カプセル内視鏡検査時、患者の皮膚にセンサ8個を直接貼り付ける。皮膚が脆弱な患者の皮膚トラブルの防止やセンサの装着時間短縮を図りたい。
5	飯塚病院	臨床工学部	臨床工学技士	記録補助装置	「救命センターや心臓カテーテル室で緊急処置を行う際、切迫した状態のことが多く、医師の口頭指示などで看護師や技師が薬剤投与や処置を実施することも多い。記録が間に合わず、走り書きのメモを後でまとめることもあるが、複数人が関わることや指示の訂正などもあり、時間、前後関係など含め詳細が不明瞭となり、記録作成に難渋することがある。これらのやりとりを記録し、正確な記録作成の補助となるデバイスが欲しい。
6	飯塚市立病院	外科	医師	腹腔鏡手術で指先の感覚が繊細に伝わる鉗子	腹腔鏡手術では硬い臓器、柔らかい臓器等様々で、指先から把持鉗子等の先端までが長く圧力感覚や組織を縫合する針や糸をかける時の繊細な感覚が指先に伝わりにくい
7	飯塚市立病院	薬剤科	薬剤師	残薬自動カウント システム	薬剤師が病棟・外来患者の残薬を目視でほぼ半日を費やし正確にカウントしている、このような自動の機器は市販されているが高価で我々のような小規模病院では購入が困難である。薬剤師の役割を半減できるような残薬カウント機器の開発を望んでいる。現状を解決したい。
8	飯塚市立病院	薬剤科	薬剤師	自動重量容積解析 システム	がん化学療法薬剤師による容量誤差をゼロにしたい。薬品重量から比重を演算し容量を算出が可能な安価で信頼できるシステム
9	飯塚市立病院	栄養管理科	管理栄養士	誤配膳防止・システム	配膳車が配膳の順番、移動を患者のADL(日常生活動作)によって、職員の動線も考慮し患者毎の配膳誘導がおこなえるシステム
10	飯塚市立病院	イノベーション 推進室	臨床工学技士	転倒転落回避 お知らせシステム	医療現場本来の役割は治療を行なうことであるが、看護師等の職員は入院中の転倒転落にも大きな負担を強いられている現状である、今後高齢化が進むにつれ職員の労力の負担を軽減し安全安心できる職場作りを図りたい。
11	飯塚市立病院	イノベーション 推進室	臨床工学技士	寂しい気持ちに寄り添えるナースコール	親族の入院、入所の経験から、少子高齢化に伴い医療現場や介護施設では高齢者の入院・入所患者、認知症患者への安心安全な環境が必要であるが、現場を支える職員にも安心して働ける環境が必要である。医療現場を支える職員の確保、離職率低減を下に働き方改革につなげていきたい。
12	飯塚市立病院	リハビリテーション室	作業療法士	簡単で安全な車椅子装着ベルト	現在、当院で使用している車椅子の患者装着ベルトは、装着が煩雑で手間と時間がかかり、ついつい人間の気持ち合い合理化され短時間・短距離の移動で装着をスキップし、インシデントが発生することがある、装着が患者にとっても職員にとっても安全安心で簡単に装着できる器具
13	飯塚市立病院	リハビリテーション室・MSW	理学療法士・MSW	家屋調査で危険箇所や改善が必要な箇所を提案できるアプリケーション	理学療法士やMSWが患者の家屋調査に行き、間取り、構造等様々な調査をおこなう、家屋毎の設計(高さ、広さ等)、危険箇所、改善箇所等を把握できるアプリケーション
14	飯塚市立病院	イノベーション 推進室	臨床工学技士	1日の業務量・進捗状況を把握できるアプリケーション	主に病棟・外来業務、入院患者に対する業務進捗状況把握(与薬・処置・検査・入院・退院等の状況)できるシステム。またスタッフの業務量分析と業務推測しファシリテートできるアプリケーション

令和7年 医工連携フォーラム・ビジネスマッチング会公開ニーズ集

ver R7.7.10

No.	所属機関	診療科名	職種	ニーズ名称	ニーズ内容
15	飯塚市立病院	看護部	看護師	点滴ボトルの受け渡しスタンド	入院患者の手術、検査等でのベッド移動時に、患者移動と共に点滴ボトルを手渡しで行うことが、かなりの労力と危険を伴っていることに気づいた、安全に移動の手間を無くしたい。
16	飯塚市立病院	看護部	看護師	点滴、チューブ類抜去を防止できるテープ	治療中の点滴ルートや様々なチューブ類を無意識に抜去してしまう危険を解決したい、チューブ類を固定するテープが皮膚との違和感なく固定できるテープ
17	飯塚市立病院	看護部	看護師	身体拘束にならない抑制着	入院患者の身体拘束が課題となる医療現場で、入院患者の安全と共に看護師の業務軽減を進めたい。
18	飯塚市立病院	臨床検査室	臨床検査技師	医療機器の車輪にコードが纏わらない器具	エコー検査機器等の医療機器を移動する時に、本体車輪でコードを踏むことがありコード破損や、車輪にコードが当たる事で移動が困難になる事を解決したい。
19	飯塚市立病院	看護部	看護師	血管痛を緩和するホットパック固定	化学療法治療中の血管痛を緩和するホットパックのホールド性を高め、治療中のホットパックのズレや脱落のストレスを解消したい。
20	飯塚市立病院	看護部	看護師	ドレーン屈曲予防が可能な材料	手術後等で患者に装着しているドレーンが、ベッド周辺の機器移動、体位交換、清拭等で、注意はしているが屈曲している時がある、屈曲の場所に曲がつき同じ部分が屈曲することを改善したい。
21	総合せき損センター	医用工学研究室	リハビリテーションエンジニア	車椅子着座者の左右方向支持具	左右方向へ身体が傾くため痛みを生じたり車いす駆動が出来なかつたりすることで困っていることを解決するための、入院患者が車いす乗車時に右方向へ身体が傾くことを防ぐための器具
22	総合せき損センター	医用工学研究室	リハビリテーションエンジニア	同様に車いすのバックサポート(背もたれ)を数センチ高くするための器具(調整範囲を超えるため)	車いすの背もたれが体幹保持力の弱い患者には調整範囲を数センチ超えるため体幹が前方あるいは後方に倒れ痛みや車いす駆動できないことに困っている。
23	総合せき損センター	医用工学研究室	リハビリテーションエンジニア	同様に、車いすのアームサポート(肘掛け)の幅を広くするための器具	電動車椅子のジョイスティックを手で保持し操作する際に腕の支点が定まらないため安定的に操作できないことで困っている。
24	総合せき損センター	医用工学研究室	リハビリテーションエンジニア	車いすの着座姿勢をリアルタイムで計測できるスマートフォン用アプリ	前述の姿勢の変化や不良姿勢を客観的に簡易に評価するシステムが無いため、調査や工夫の効果や必要性を訴えることが出来ないため。
25	総合せき損センター	医用工学研究室	リハビリテーションエンジニア	ベッドのギャッチアップ角度を簡易に確認するための器具(常時設置)	褥瘡・嚥下・身体能力など患者の症状に対应的確な角度を選定しているが、その角度を必要な都度簡易に実現させるため。
26	総合せき損センター	医用工学研究室	リハビリテーションエンジニア	スマートフォン固定装置	手の不自由な患者は仰臥位でスマートフォンを把持することが出来ない。仰臥位・側臥位で操作するために固定場所と方法に困っていることを解決するためのオーバーベッドテーブルに見やすい位置で固定するための器具(側臥位でも対応)
27	総合せき損センター	医用工学研究室	リハビリテーションエンジニア	高齢・障害者も利用できる電動モビリティ	車いす使用者の高齢化が進んでおり自動車の運転をやめる方が増えつつある。免許不要で自転車程度の速度で移動できる移動手段が必要。特定小型原動機付き自転車。